

すき くわ  
**動と鉄**

2021年度 第一号

発行 東近江農業農村振興事務所農産普及課  
発行責任者 井上 忠雄

- 農業推進係、東部普及指導第一係、同第二係  
〒527-8511 東近江市八日市緑町7-23  
TEL 0748(22)7727・7728 FAX 0748(22)1234
- 西部普及指導係  
〒521-1301 近江八幡市安土町大中516  
TEL 0748(46)6504 FAX 0748(46)7411
- 東近江農産普及課 Facebookページ「ふきゅーとる東近江」(<https://www.facebook.com/fecutre>)  
東近江管内の農村風景や台風情報・緊急を要する情報等をタイムリーに掲載しています

ふきゅーとる



E-mail ga31@pref.shiga.lg.jp

- もくじ
- 1 ページ目：黒えだまめ「能登川黒ダイヤ」の産地が急拡大！
  - 2 ページ目：お米づくりは「土」づくりから！
  - 3 ページ目：侵入防止柵＋目隠し資材で侵入防止効果アップ
  - 4 ページ目：しがの農業みらい条例の紹介・R3普及センター活動体制

## 黒えだまめ「能登川黒ダイヤ」の産地が急拡大！

東近江市能登川地域では、平成26年から黒えだまめの生産が行われています。えだまめは、水稻に代わって春から夏に栽培でき、収益性が高く、今後も需要が見込める有望な品目です。

生産者が収穫されたえだまめは、JA選果場で厳しい基準により選別され、「能登川黒ダイヤ」と名付けて出荷されています。そのまま調理できる電子レンジ対応袋を使うなど、県内の量販店から高評価を得ています。

令和2年度には、生産拡大に向けて、生産者・JAグリーン近江・当普及指導センターが連携し、収穫作業時間を大幅に削減できる収穫機の実演、生産安定技術の検討、先進事例の調査を実施しました。

その結果、えだまめ専用収穫機が導入され、令和3年度は能登川地域以外の方も生産されるようになり、作付面積が前年比3倍以上の4.7haとなりました。また、名称を「近江黒ダイヤ」に変更され、産地拡大がさらに加速する見込みです。

当普及指導センターは、今後も生産者・関係機関と連携し、水田を活用した高収益作物生産を支援していきます。



「能登川黒ダイヤ」のパッケージ



導入されたえだまめ専用収穫機

# お米づくりは「土」づくりから！

水田においては、有機物の施用が少ないことや、水稻・麦・大豆の作付体系が永年行われていることなどにより、地力の低下や収量の減少が心配されています。

特に水稻は、収穫までに吸収する窒素量の6～7割を土壌中窒素から利用しています。

地力向上のため、本県では有機物を活用した土づくりを推奨しています。有機物を施用すると、①腐植が増加し土が耕しやすくなる、②様々な養分がゆっくりと現れ作物の栄養供給源となる、③土中の微生物数が増え蓄積されていた有機物の分解が促進される、などの効果により、収量の増加が期待できます。

今回は、有機物の活用例として、牛ふん堆肥と緑肥ヘアリーベッチについて紹介します。

## 1. 牛ふん堆肥

牛ふん堆肥には様々な肥料成分が含まれており、堆肥1t内に約6～7kgの窒素量が含まれています。施用後1年以内に有効化するの約1～2kgですが、継続して取り組むことで、徐々に効果が現れてくる特徴があります。牛ふん堆肥を連年施用することで、無施用の場合と比較して、化学肥料の施用量を減らしても、同等の収量を確保することが期待できます。(右上表参照)

施用については、土壌の還元障害を防ぐため、秋頃に散布を行い、すき込むことが好ましいです。

施用量は、2t/10aを上限とし、湿田では堆肥の分解が遅いことから、0.5～1t/10aに抑えることを勧めています。

(滋賀県農業試験場 1999～2001年)

試験区	連用年数	施肥N量 kgN/10a	精玄米重 kg/10a	収量比 (%)
無施用区	0	9	590	100
牛ふん堆肥施用区 (2t/10a)	26	3	585	99



堆肥散布の様子

## 2. 緑肥ヘアリーベッチ

ヘアリーベッチはマメ科作物の1つで、10月に播種し水稻の作付前にすき込みを行います。ヘアリーベッチは生育が旺盛で窒素量を確保しやすく(約15kg/10a)、無肥料での栽培も可能です。また、根が深くまで伸長するため、土壌の団粒化により、土が柔らかくなる効果もあります。

管内では、ヘアリーベッチを活用した水稻「みずかがみ」栽培が、現在5.5haで取り組まれています。昨年度に取り組まれたほ場では、いずれも無肥料で、通常栽培と同等以上の収量が確保でき、肥料代の削減にも繋がりました。(※詳しい取組内容は、鋤と鋤2020年度第一号をご参照ください。)

土づくりは、継続して取り組むことで、効果が徐々に現れてきます。

有機物の活用に興味のある方は当普及指導センターまでご連絡ください。



すき込み適期のヘアリーベッチ



## “侵入防止柵”＋“目隠し資材”で侵入防止効果アップ ～田んぼをイノシシから守るには～

侵入防止柵の設置等が進み、管内の野生獣による農作物被害は平成23年度をピークに減少していましたが、平成30年度以降は横ばい状態です。再び被害を減少させるためには新しい対策が必要となっています。

また、イノシシ対策として設置されている侵入防止柵の劣化や効果の低下も問題となっています。そこで、今回はイノシシ対策として侵入防止柵の機能強化につながる「目隠し資材」を紹介します。

イノシシは臆病な性質で、視力や嗅覚（におい）や聴覚（音）等の五感を研ぎ澄まして自然界を生き抜いています。しかし、視力は0.1以下と低いため、視界を遮ると警戒心を高める習性があります。この習性を利用した侵入防止柵の機能強化の方法が「目隠し資材」です。



防風ネット（左：黒4mm目 中央：青4mm目）、防草シート（右）の組み合わせ

「目隠し資材」として用いるのは防風ネットや防草シートです（写真参照）。設置は簡単で、既設の柵の下部（地際から高さ1m）に結束バンド等で上下を1～2m間隔で固定します。防草シートは効果が高いものの、強風が当たる個所では柵へ負荷がかかり倒伏することがあります。そのため、山の中など強風の影響を受けにくいところに設置します。風が心配される場所では、防風ネットを利用します。何回も侵入されている個所ではその部分だけ効果の高い防草シートを施工するとよいでしょう。

資材費は、比較的安価です（下表1）。資材の選定や設置方法等の詳細については、当普及指導センターまでご相談ください。

表1 侵入防止柵用目隠し資材（参考価格）

商 品 名（規格1m幅×50m巻）	1m当たり	50m巻	備 考
防風ネット黒（4mm目）	¥122	¥6,100	
防風ネット青（4mm目）	¥119	¥5,950	
雑草抑制おまかせネット（緑）	¥233	¥11,650	耐用年数8年
高密度防草シート（深緑）	¥151	¥7,550	耐用年数4～6年
平均	¥156	¥7,813	

## 「しがの農業みらい条例」が制定されました！

本県では、令和3年4月1日に「持続的で生産性の高い滋賀の農業推進条例」（愛称：しがの農業みらい条例）を施行しました。

この条例には、持続的で発展性のある農業生産の振興を図ることを目的に、「生産力の向上」と「環境保全対策」を柱として、県が行う施策の基本となる事項を定めています。

すべての農業者が意欲と誇りを持って農業を営むことができる環境づくりに向け、農業者、農業団体や県民の皆さんとともに、滋賀の農業の「みらい」のための取組を進めます。

条例の詳しい内容や関連する要綱については、県の公式ホームページに記載しています。下記URLより是非ご覧ください。

<http://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/oshirase/316067.html>



## 令和3年度 東近江農業普及指導センターの活動体制

令和3年度は、東部（東近江市八日市緑町）18名、西部（近江八幡市安土町大中）8名の計26名で活動します。今年度もどうぞよろしくをお願いします！

参事：伊吹 久美、課長補佐：大堀 英樹・田中 寿、副参事：松山 高博

専門担当等	東部	西部
作物	田中 豊、尾賀 邦雄、森 茂之、田中 和喜	下川 陽一、大橋 哲哉
野菜	中村 嘉孝、伊吹 久美、松井 賢一、井上 孝之、軸屋 恵	野口 英明、田中 寿、花田 惇史
花き	大堀 英樹、元廣 はるな	丸山 央
果樹	北野 亮、平田 隼也	今村 昇、（藤川 映里香）
茶	濱谷 昭寿	
畜産	松山 高博、（田中 義樹）	
経営	大堀 英樹、田中 豊、森 茂之、濱谷 昭寿	中田 俊之、田中 寿、下川 陽一
6次産業化	松山 高博、岡田 みゆき	下川 陽一
新規就農	岡田 みゆき、伊吹 久美、松井 賢一、北野 亮、井上 孝之	今村 昇、田中 寿、丸山 央、野口 英明
獣害	松井 賢一、尾賀 邦雄	花田 惇史
新規採用職員	橋本 留奈	

	近江八幡市	東近江市	日野町	竜王町
窓口担当	今村 昇	田中 豊 濱谷 昭寿 花田 惇史	松井 賢一	森 茂之

